

12月14日

東海環状自動車道

大野神戸IC～大垣西IC開通



12月14日(土)、東海環状自動車道「大野神戸インターチェンジ(IC)～大垣西IC」が開通しました。大野町立南小学校で行われた開通式には、岐阜県知事を始め、多くの関係者が出席。式典後は、大野神戸ICに移動し、開通を祝うセレモニーが行われました。

東海環状自動車道は東海3県(岐阜、愛知、三重)をつなぐ延長約153キロの高規格幹線道路。今回開通した、大野神戸IC～大垣西IC間は延長7.6キロで平成24年11月に当IC着工が行われ、7年の歳月を経て完成しました。名神高速道路に繋がるため関西方面へのアクセスが向上し所要時間が短縮。西回りルートでは、本年度中に関見IC～山県IC間、令和6年度に山県IC～大野神戸IC間が開通する見通しです。

今回の開通により、町内既存企業の生産拡大効果に伴う地域経済の持続的な発展のほか、日吉神社やばら公園(こいの広場)を始めとする観光スポットへの来客者数増加などが期待されます。また地震などの災害時には緊急輸送道路として使用されることから、支援助資の調達や人員の確保にも期待できます。

神戸中学校吹奏楽部による演奏



開通式



開通を祝福する地域の皆さん

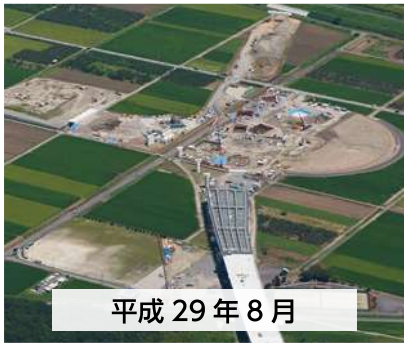


町内企業もパレードに参加



大野神戸にができるまで

提供：岐阜国道事務所



平成 29 年 8 月



平成 28 年 11 月



工事着工前



平成 30 年 10 月



令和 元年 9 月



令和 元年 11 月

11月24日

開通記念イベントが 開催されました！

東海環状自動車道「大野神戸インターチェンジ（IC）」が開通するのを前に、記念のイベントが開催されました。このイベントは、開通前の自動車道をランニング（往復10キロ）やウォーキング（往復7.6キロ）ができるというもので、県内外から約5,300名の方が参加しました。オープニングセレモニーの後に、子どもたちは真新しい道路を元気に駆け抜け、大人たちも山々を望む景色を楽しみながら、それぞれのペースで足を進めました。

自動車道には、実際の工事で使用された日頃見ることのない複数の巨大な重機の展示も行われており、参加者は重機に乗り記念撮影などをして楽しみました。



▲ゆるキャラと一緒に記念撮影



▲工事で使われた重機の展示・試乗体験



▲ウォーキング



▲元気に駆け抜ける参加者